

令和8年度 摂陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	130	51	45	7.8	15.5	443
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞本年度の全国学力・学習状況調査の国語の平均正答率は、全国と比較して12.9%、大阪市と比較して9.0%下回った。詳細を問題形式別で見えていくと、短答式の領域の正答率において、全国平均よりも9.7%、大阪府平均よりも6.4%下回る結果となっている。しかし、記述式の領域については、さらに、全国平均と比べて21.0%、大阪府平均と比べて16.4%も下回ってしまった。

＜数学＞

数学については全国の平均正答率と比較して12.0%、大阪府平均と比較して10.0%下回っている。詳細を問題形式別で見ると、選択式の問題においては全国平均よりも11.5%、大阪府平均と比べて8.3%下回っている。しかし、記述式の問題においては、さらに、全国平均と比べて14.3%、大阪府平均と比べて11.8%下回った。

＜英語＞本年度、全国学力・学習状況調査で実施された英語の平均IRTスコアは、全国・大阪市と比較すると共に56ポイント下回った。

＜課題＞

どの教科においても大阪府・大阪市の平均点を下回ったが、各教科の詳細を見ると、それぞれの教科での課題が見えてくる。特に記述式の問題の正答率がすべての教科において低い結果となっている。また、数学では選択式のある問題が比較的正答率がよかった。

今後に向けて

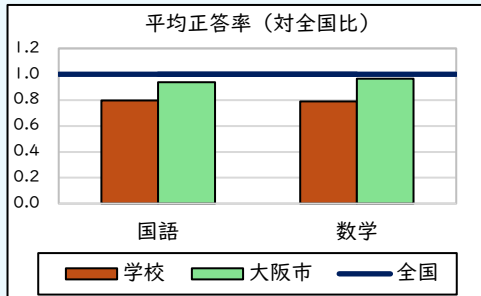
【今後に向けて】

全国学力学習状況調査結果、全教科大阪府・市・全国の平均を超えることができなかった。無回答率も全国・大阪府・市を下回ることができなかった。毎年安定した結果が出せるようにしていきたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

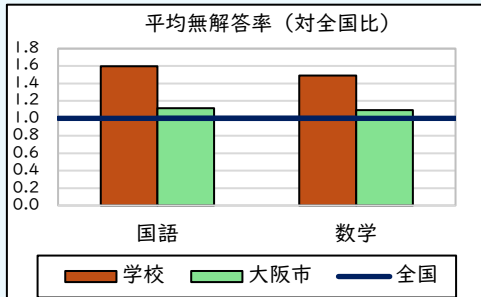
平均正答率（％）

	国語	数学
学校	51	45
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0



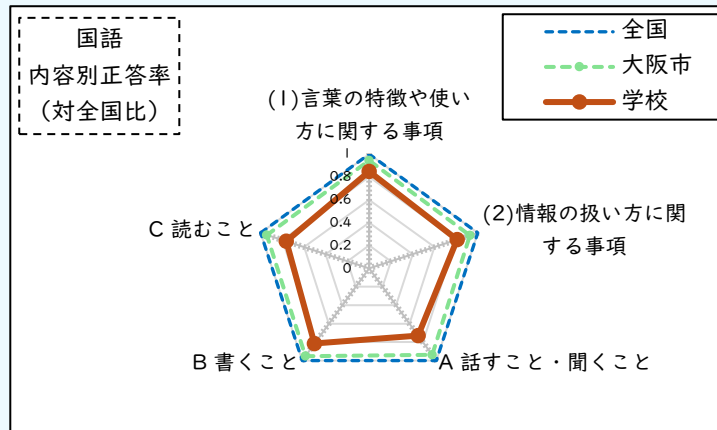
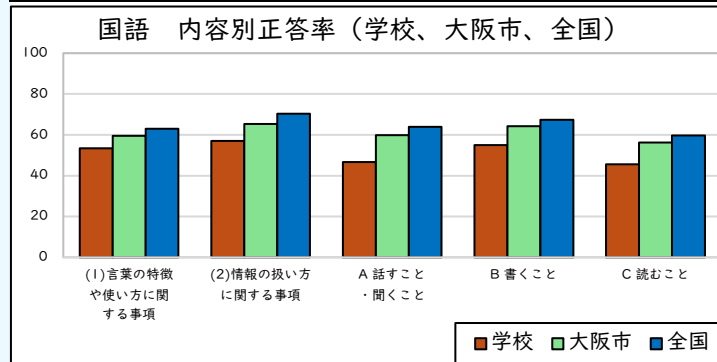
平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	7.8	15.5
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4



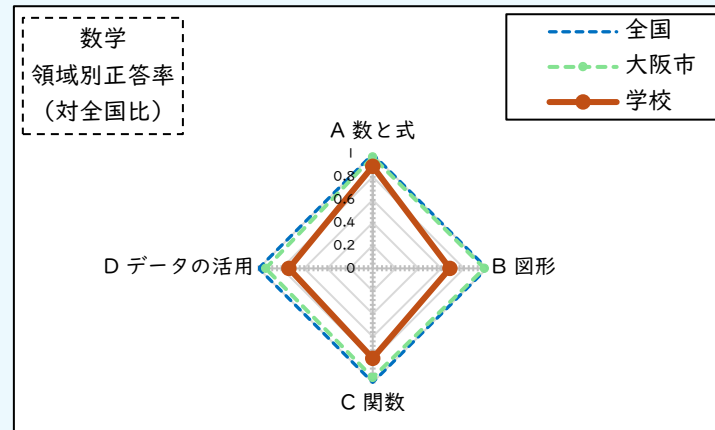
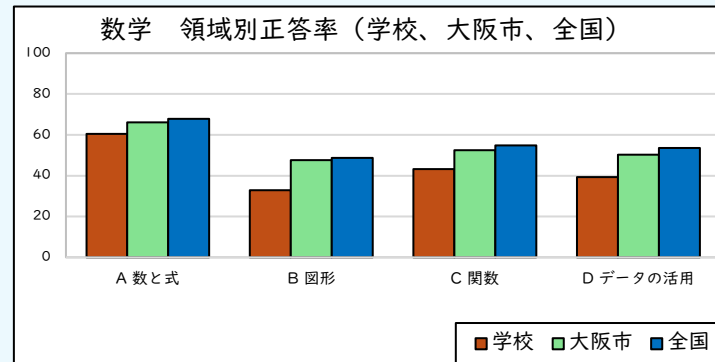
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	53.4	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	57.0	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	46.6	59.9	63.9
B 書くこと	3	54.9	64.2	67.4
C 読むこと	3	45.6	56.3	59.7



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	60.5	66.1	67.8
B 図形	4	32.9	47.6	48.7
C 関数	3	43.2	52.5	54.8
D データの活用	4	39.3	50.2	53.5



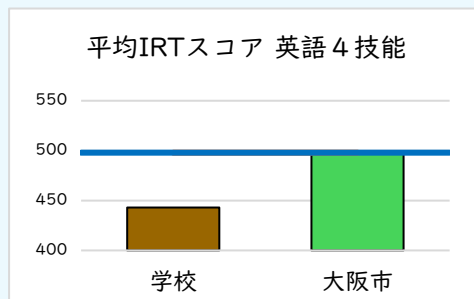
令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	443 (443)
大阪市	499 (499)
全国	498 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

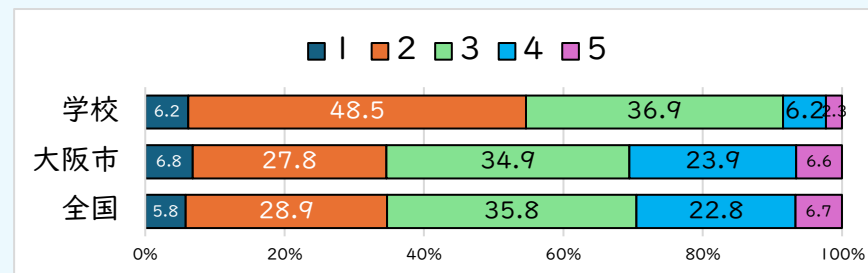
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

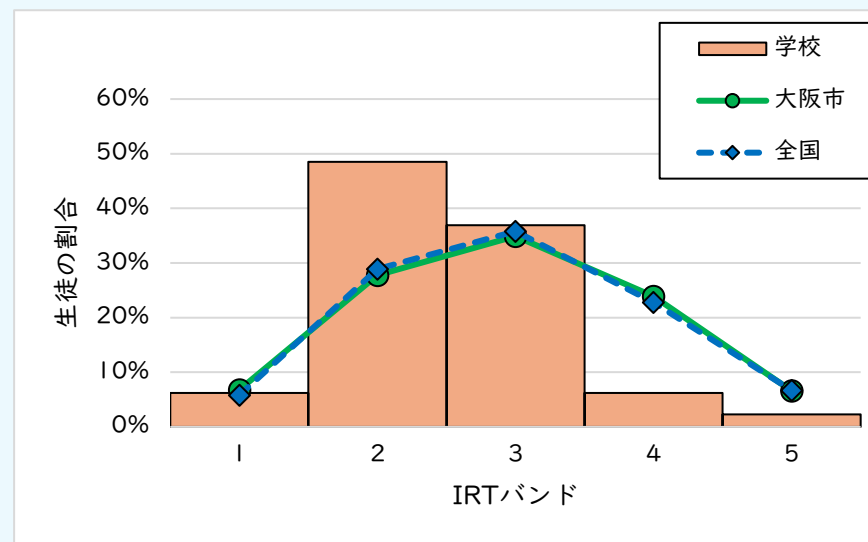
	1	2	3	4	5
学校	6.2	48.5	36.9	6.2	2.3
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	5.8	28.9	35.8	22.8	6.7

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



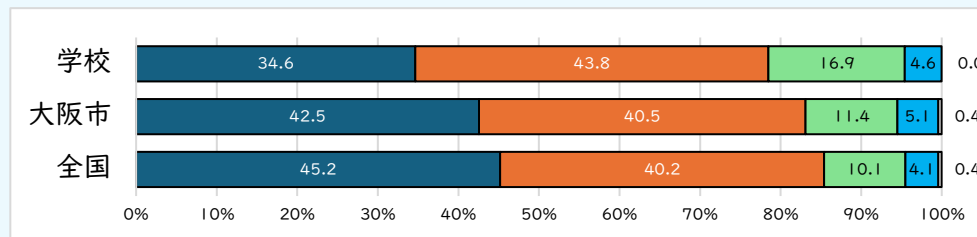
生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

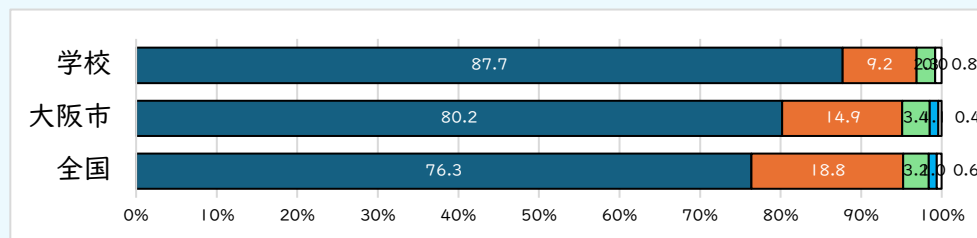
質問番号 質問事項

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



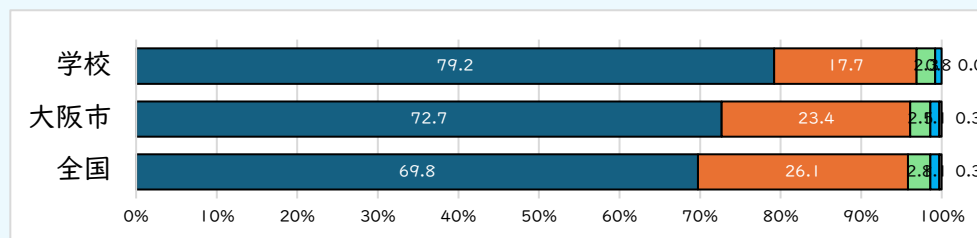
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



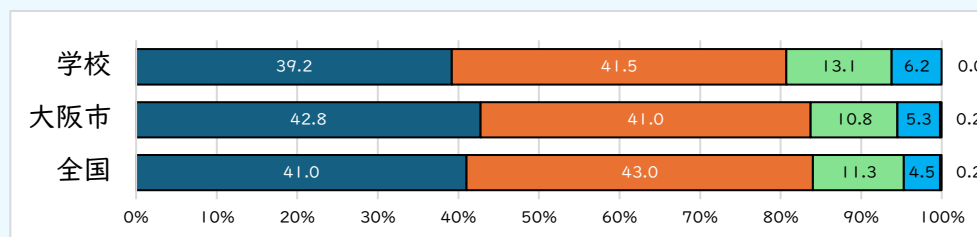
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



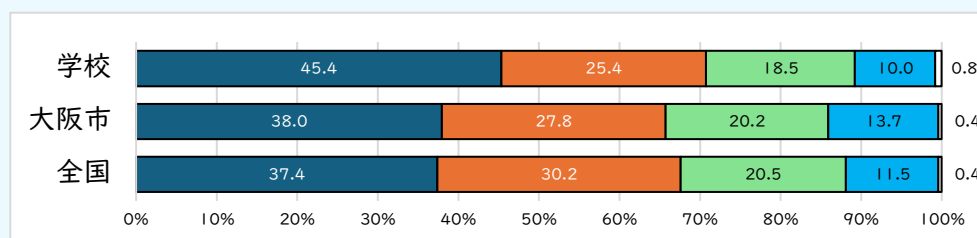
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

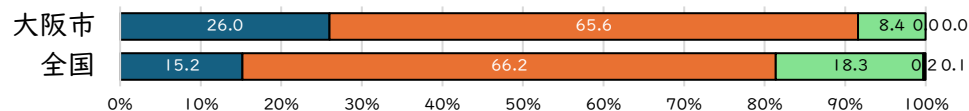
質問番号

質問事項

(27)

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

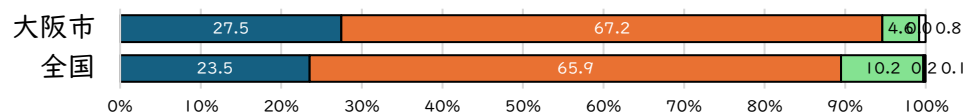


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(28)

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

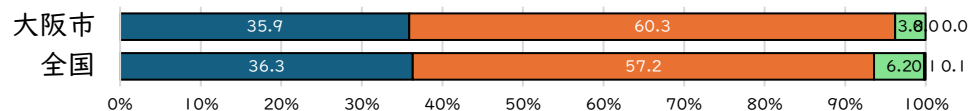


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(41)

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 3 あまりしていない

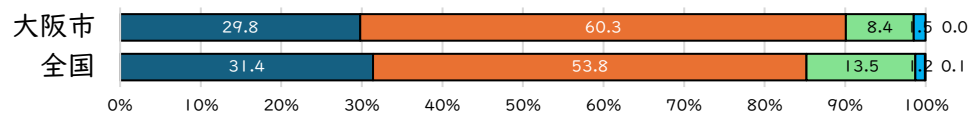


- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(67)

コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

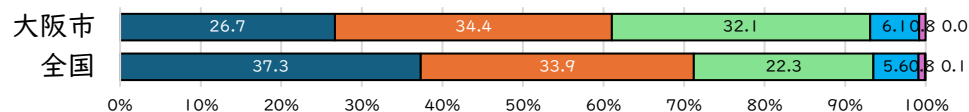


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(69)

調査対象学年の生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

【学校の回答】 2 週3回以上



- 1 ほぼ毎日
- 2 週3回以上
- 3 週1回以上
- 4 月1回以上
- 5 月1回未満